

ージャーマンカモミールー



東京理科大学 薬用植物園 2022. 5. 18 撮影



東京理科大学 標本室 2022. 6. 6 撮影

学名 : *Matricaria chamomilla* Linné

和名 : カミツレ

英名 : German chamomile

科名 : キク科

属名 : カミツレ属

薬用部位 : 頭花

生薬 : カミツレ

主な薬効 : 発汗、駆風、鎮痛、鎮痙、消腫、消炎

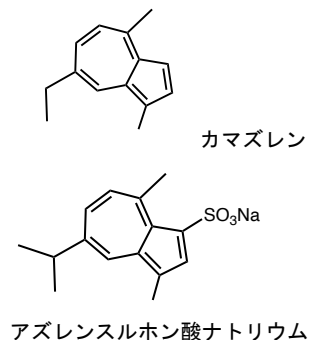
用途 : 発汗薬、駆風薬、鎮痛薬、鎮痙薬、消腫薬、消炎薬、浴湯料

主要成分 : 精油成分 : (–)- α -bisabolol、matricin、chamazulene

フラボノイド : apigenin

ヨーロッパ原産の1~2年草で、世界各地及び国内で栽培されている。草丈40~60cm。葉は細裂し、互生。花は白色の舌状花と黄色の管状花が頭状花序を形成している。頭花にリンゴに似た強い香りがある。ハーブの1種として広く知られており、ハーブティーやアロマオイル、化粧品等幅広く使われている。また、抗炎症作用や抗アレルギー作用、女性特有の症状の緩和作用があることから古くから民間薬としても用いられている。血流促進作用による冷え性の改善、筋弛緩作用による筋肉痛の改善、リウマチや神経痛を和らげる等の目的でアロマバスにも利用される。

アズレンスルホン酸ナトリウム (もしくはアズレンスルホン酸ナトリウム水和物) はジャーマンカモミールの有効成分アズレンの誘導体である。医薬品の有効成分としてこれらが含まれる医薬品において、外用薬は湿疹ややけどに、眼科用材は結膜炎や角膜炎に、うがい薬は咽頭炎、扁桃炎、口内炎などに用いられる。アズレンにはほかの成分と混合した配合剤が多く販売されているが、L-グルタミンを配合した薬剤は胃潰瘍・十二指腸の治療薬として用いられ、炭酸水素ナトリウムを加えて中和剤 (胃の制酸剤) にされることもある。



【参考文献】

- ・ 薬用植物学 改訂第7版 水野瑞夫監修 南江堂
- ・ 花図鑑ハーブ 高橋章監修 草土出版
- ・ 武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園 <https://www.takeda.co.jp/kyoto/area/plantno147.html>
- ・ 最新 薬用植物学 奥田拓男 廣川書店
- ・ Es Discovery アズレンスルホン酸ナトリウムの効能・作用・副作用 <https://esdiscovery.jp/candy/medica/digest003.html>